

第2学年松組 生活科学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 単元名 ときどき わくわく まちたんけん

2 単元の目標

【知識及び技能】地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けることができる。
【学びに向かう力、人間性等】地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり安全に気を付けて生活したりしようとしている。

3 子どもと単元

単元について

<地域の場所や人との関わりと安全な生活>

第1学年では学校内を探検し、教室や保健室などたくさんの場所があることを知った。また、担任の先生以外にも、学校生活を支えてくれる人がたくさんいることにも気付いた。

これまで学校や家庭が生活の中心であったが、2年生になり、友達や地域の自然、人々との関わりを通して、自分たちの町にまで生活の場を広げていく。

本単元では、町探検の活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることで、自分たちの生活は、様々な人や場所と関わっていることに気付き、それらに対する親しい気持ちや愛着を深めることをねらいとしている。また、人々との適切な関わりや安全な生活についても考え、実践することをねらいとしている。

<気付きの質を高める>

本単元で見たり聞いたり調べたりしたことが、秋の「もっとなかよしまちたんけん」の単元の活動のきっかけ作りとなる。半年間、自分の調べたいことについて調べ、気付き、考え、表現することで、更なる気付きが生まれたり、気付きの質を高めたりすることをねらいとしている。何度も地域と関わることで、親しくなったり愛着をもったりすることもできる単元である。

学びを支えるために

<主体的に問題解決するために>

本校は学区が広く、学校周辺に居住していない子どもも多い。本学級においても、スクールバスで通学している子どもが、21人中9人いる。そこで、単元の前段階で、学校周辺を中心として、施設やお店、町の様子などを見るという活動を行うことで、気になる場所を見付け、もっと知りたい、話してみたい、という気持ちをもつことができるようにする。また、気付きを自覚することができるように、自分が活動したことや体験したことを表現する活動を設定するとともに、体験と振り返りを基にして次の働きかけの自己選択につなげていくために、観点を設けた振り返りを毎時間書く場を設ける。

ICTの活用<友達との対話から、気付きを深める>

出かけてみたい場所や町探検で見付けたことまとめ方等について学級全体で自由に共有するために、スマイルノートの協働的な学びの機能を活用する。また、友達との対話を通し、友達の気付きを知ったことで自分の気付きが増えたことを、スマイルノートで「いいね」をタップして可視化する活動を取り入れる。教師も「いいね」をタップすることで、教師や友達に価値付けされていることを実感し、新たな気付きを生んだり、気付きを深めたりすることができる。

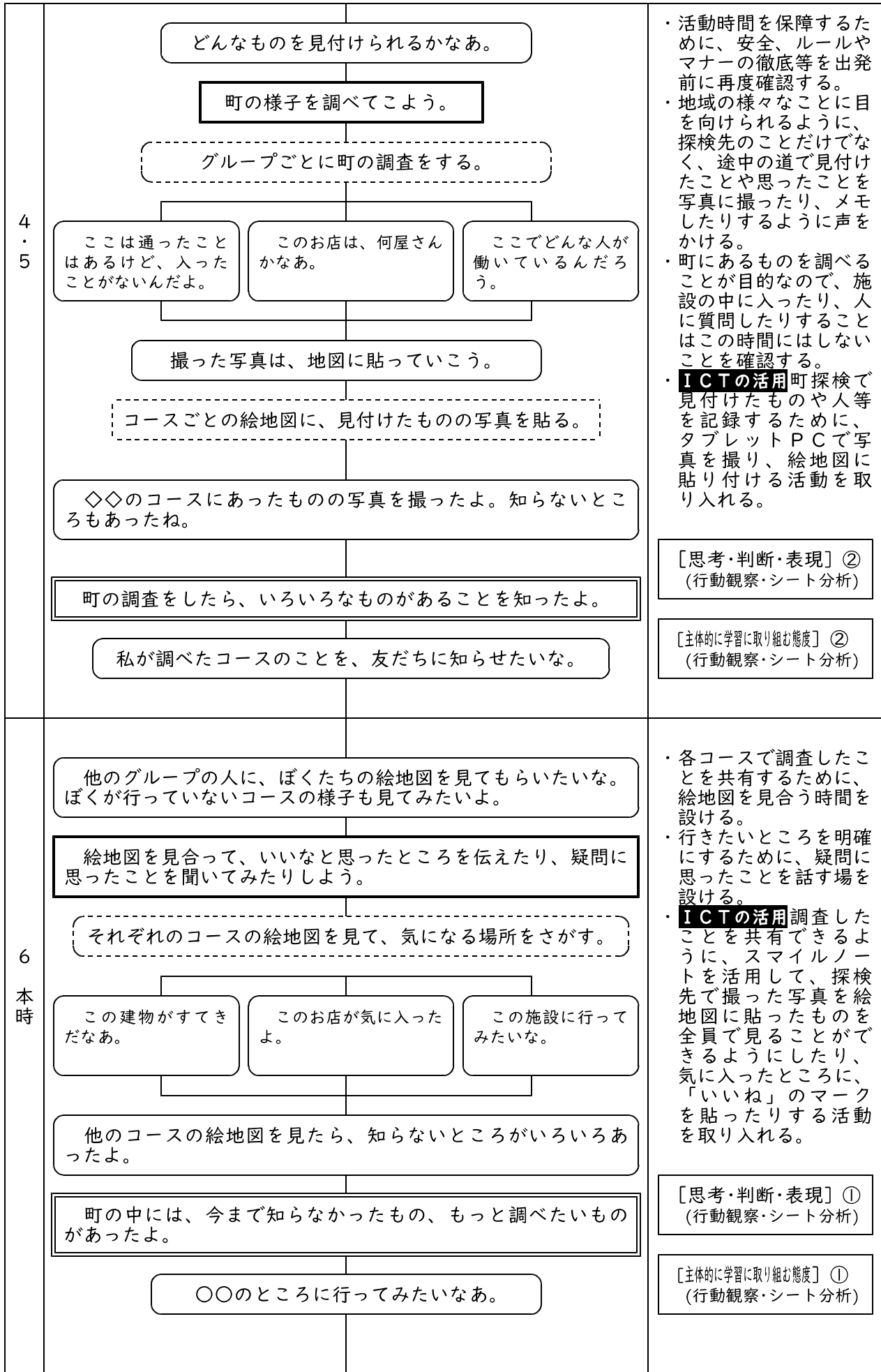
学ぶ子どもたち

<生活科の学習が好きで、意欲的に取り組む子ども>

5月に実施した意識調査では、「生活科の学習がとても好き、好き」と答えた子どもは100%であった。「見学に行き行って新しいことを見付けることがとても好き、好き」「友達の発表を見たり聞いたりすることがとても好き、好き」と答えた子どもも100%である。「自分の考えを書くこと」「なぜ、どうしてと思ったことを自分で調べたりまとめたりする」「自分の考えや調べたことを発表する」については、「とても好き、好き」は76~85%とやや下がり、「見学だけ」や「友達の発表を聞くだけ」はいいが、能動的に考えたり伝えたりすることに苦手意識をもつ子どもがいることが分かる。

<タブレットPCを使った学習に親しむ子ども>

「タブレットPCを使って学習することがとても好き、好き」と答えた子どもは100%であった。基本的な操作の技能はまだまだ習得途中の段階であるが、毎朝の健康観察、写真を撮る、絵を描く、スマイルドリルを使っての家庭学習等、日常生活の中でタブレットPCを活用する場面を意識的に増やしたことで、操作に徐々に慣れ始め、楽しんで使うことができるようになっていく。授業場面では、デジタル教科書へ書き込んだり、スマイルノートに考えを書いたりすることで、自分の考えが視覚的に明らかになるとともに、友達との学び合いにもつながり、学習への意欲の高まりが感じられる。



7	<p>行ってみたい場所が見つかったよ。</p> <p>町探検をしよう。</p> <p>行きたい場所を出し合い、調査するために必要なことを考える。</p> <p>同じ方向の人とグループをつくりたいね。</p> <p>質問することや約束を計画書に書こう。</p> <p>写真も撮らせてもらいたいね。</p> <p>どんなものや人と会えるのが楽しみだね。</p> <p>町探検で、町のいいところをたくさん見付けたいね。</p> <p>早く出かけたいね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの思いや願いを大切にしながら、安全への配慮を第一に考え、探検できる範囲や時間等を伝える。 興味・関心を引き出す意欲を高めるために、発問を工夫する。 安全面や時間を確認するために、探検先やルートが決まり次第、担当が下見に行く。また、探検先への協力や撮影の許可などを得る。 <p>[思考・判断・表現] ① (行動観察・シート分析)</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ② (行動観察・シート分析)</p>
8・9	<p>いよいよ探検に出発だ。でも、ちょっと不安だなあ。</p> <p>町探検で見付けたことや思ったことを忘れないようにしましょう。</p> <p>グループごとに町探検をする。</p> <p>このお店にはたくさんものがある。写真を撮ってもいいか聞いてみよう。</p> <p>見ているうちに聞いたことが出てきたら、質問してみよう。</p> <p>ここで思ったことをしっかりメモしよう。</p> <p>メモや写真があるから、他のグループにも伝えられるね。</p> <p>町探検で見たこと、聞いたこと、気付いたことを友だちに伝えたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動時間を保障するために、安全、ルールやマナーの徹底等を出発前に再度確認する。 地域の様々なことに目を向けられるように、探検先のことだけでなく、途中の道で見付けたことや思ったことを写真に撮ったりメモし、声かけをする。 ICTの活用 町探検で見付けたものや人等を記録するために、タブレットPCで、写真を撮る活動を取り入れる。 <p>[思考・判断・表現] ② (行動観察・シート分析)</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ② (行動観察・シート分析)</p>
10・11	<p>他のグループの人に、どうやって伝えたらいいかなあ。</p> <p>町探検で見付けたこと、思ったことなどを他のグループの人に伝えよう。</p> <p>個別に伝え方を考え、作業をする。</p> <p>写真を印刷して、吹き出しを書き込もう。</p> <p>絵日記みたいにまとめようかな。</p> <p>ミニ新聞を作りたいな。</p> <p>その場所に行っていない友だちに分かりやすく伝えるには、工夫が必要だね。</p> <p>町探検で見付けたこと、思ったことをまとめることができたよ。</p> <p>友達に早く教えたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが発表の方法を選択できるように、発表の方法について子どもたちと考える時間を設けたり、モデルを示したりする。 ICTの活用 より視覚的に友達に伝えられるように、探検先で撮った写真を印刷して貼ったり、スマイルノートに貼って作品を作ったりすることができるようにする。 <p>[知識・技能] ② (行動観察・作品分析)</p> <p>[思考・判断・表現] ③ (行動観察・作品分析)</p>

別のグループの人に、自分が行ったところのことを教えよう。

町探検のことを伝え合おう。

個別に発表し、感想を伝え合う。

〇〇に行った人たちは、たくさんの人に会ったんだね。

ぼくの家近くに、こういうところがあるなんて知らなかった。

写真を使って教えてくれたから、よく分かったよ。

地域には、まだまだ知らない場所があるけれど、友だちの発表を聞いて、少し分かったよ。

写真があったから、町探検のことがよく分かったよ。町には、優しい人がたくさんいたんだね。

友だちの発表を聞いて、そこに行きたくなったよ。

・自分と地域とのつながりを振り返ったり、この後の活動を広げたりすることができるように、「地域の中での過ごし方に変化はありそうかな」「おうちの人と、町探検で知ったところについて話してみたら。」等の具体的な声がけをする。

[知識・技能] ③
(発言分析・シート分析)

[主体的に学習に取り組む態度] ③
(発言分析・シート分析)

5 本時の実際（本時6 / 12）

(1) ねらい

それぞれのコースに何があるのかを友達の絵地図を見て知り、自分が行ってみたい、調べてみたいと思う場所を見付けることができる。

(2) 展開

子どもの思考と活動の流れ	教師の支援と評価方法等
<p>他のグループの人に、ぼくたちの絵地図を見てもらいたいな。ぼくが行っていないコースの様子も見てみたいよ。</p> <p>絵地図を見合って、いいなと思ったところを伝えたり、疑問に思ったことを聞いてみたいりしよう。</p> <p>それぞれのコースの絵地図を見て、気になる場所をさがす。</p> <p>このお店が気に入ったよ。</p> <p>このお店のおじさん、いつもあいさつしてくれるよ。</p> <p>この施設に行ってみりたいな。</p> <p>他のコースの絵地図を見たら、知らないところがいろいろあったよ。</p> <p>町の中には、今まで知らなかったもの、もっと調べたいものがあったよ。</p> <p>学習を振り返る。</p> <p>○○のところにいきたいなあ。</p> <p>このお店の一番の人気商品を聞いてみたいよ。</p> <p>学校から帰るとき、このお店のおじさんは、いつもあいさつしてくれるけど、なぜなのかな。</p> <p>この施設にはどんな人が来るんだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各コースで調査したことを共有するために、絵地図を見合う時間を設ける。 行きたいところを明確にするために、疑問に思ったことを質問する活動を取り入れる。 ICTの活用調査したことを共有できるように、探検先で撮った写真を絵地図に貼ったものを全員で見ることができるようになり、気に入ったところに、「いいね」をタップしたりする活動を取り入れる。 振り返る場面では、学習の成果を実感できるように、自分の変容、次時への展望等の観点を示す。 <p>[思考・判断・表現] 行動観察・シート分析 行ってみたい場所や見てみたいもの、会いたい人などを決め、町探検の計画を立てている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 行動観察・シート分析 身近な地域の人々や様々な場所に関心をもっている。</p>